



12月の生活目標  
身の回りの整理・整頓をしよう

「乙」「己」「巳」似て非なるもの

校長 山下 裕司

似て非なるものは、この様にはたくさんあります。  
ただ、全く違うのではなく、一部似ているものもあります。上記の漢字は、いずれも似て非なるもの。  
まず成り立ちが違います。

「乙」は獣の骨の形からできた文字。  
「己」は糸巻きに使った器の形からできた文字。  
「巳」は蛇、胎児の形からできた文字です。

このように成り立ちは、全て違いますが、象形文字であるところは同じです。また、3つの文字はいずれも十干十二支の文字で、「乙(きのと)」「己(つちのと)」は十干、「巳(み)」十二支です。

世の中には、似て非なるものばかりです。その中で子どもたちが疑問を抱き問いをもつことこそが、学習の始まりなのです。違いは何か? 同じところはどこか? なぜ、相違があるのか? どうしてそうなったのか? 一人一人の問いが、子どもたちの学びの原動力となります。植物、気象、科学、歴史、地理、文学、数学等々、考えてみれば、そこには似て非なるものばかり。一つ一つの相違を見付け、その根拠を究明することが「学び」なのです。この学びが「探究」です。

時に課題は与えられることもあります。それも一つの学びかもしれません。しかし、自ら課題を見いだしてその問題解決に向かって探究する学びの方が、楽しいと思えるはずです。たとえ与えられた課題よりも困難でも自分の文脈があるから楽しいと思えるのです。途中で投げ出して挫折するかもしれません。でも、与えられた課題をこなすことができず、投げ出してしまうのと、自らが立ち向かって諦めてしまうのでは、次の未来が違うのではないかと私は考えます。自らが課題を見だし、それに立ち向かって挫折するのは、ただの挫折ではなく、その方向では成功しないから軌道修正をするための回避なのです。目的をもっていれば、別の方法で再度、挑戦する力が残っているはずです。それが「自立した学び」なのです。

来年の干支は、「乙巳(きのとみ)」の年です。似て非なる文字が並びました。  
学校教育も似て非なるものです。この3年間で培った「子どもの文脈で学習できる単元開発」は、学びの本質に迫る普遍的な学びを実現できると確信して来年度も継承しますが、毎年同じではなく、更に子どもたち一人一人の文脈ができる学習環境づくりにチャレンジします。

来年も似て非なる年。子どもも教師も家庭も保護者も今までの良きものは変わらずに、更に良きものを見だし、変化していく年になることを祈ります。

お知らせ：11月1日付で、教育活動支援員として岡崎茉莉子さんが着任いたしました。  
主に1年生について様々な活動の支援をします。御承知おきください。

12月の行事予定

※ 行事や学習の予定は、感染状況等により変更がある可能性があります。ご承知おきください。

月	火	水	木	金
2 B 委員会	3 児童朝会	4 集会	5 なかよしグループ 学校保健委員会	6 朝読書
9 特別時程 運動週間始(中休み) 下校13:45頃	10 特別時程 下校13:45頃(1年) 下校14:35頃(2~6年)	11 特別時程 下校12:45頃	12 特別時程 下校13:45頃(1・2年) 下校14:35頃(3~6年)	13 特別時程 運動週間終(中休み) 下校13:45頃(1~3年) 下校14:35頃(4~6年)
16 B 表彰朝会 クラブ	17 特別時程 4者面談① 下校12:45頃	18 特別時程 4者面談② 下校12:45頃	19 特別時程 4者面談③ 下校12:45頃	20 特別時程 4者面談④ 下校12:45頃
23 特別時程 4者面談⑤ 下校12:45頃	24 特別時程 給食終 大掃除 4者面談⑥ 下校12:45頃	25 終業式 3時間授業 下校11:35頃	26 冬季休業日始	27

## 給食について

給食食育主任 根岸 祐介

昨年5月に新型コロナウイルス感染症5類に移行してから、給食の時間も徐々にコロナ前の形式に戻ってきました。給食当番の仕事に熱心に取り組む子、会話を楽しみながら食べる子、嫌いなものでも頑張っておべようとする子等、給食を通して様々なことを経験し学んでいます。

## 教室の窓

第1学年 阿部 明日香

1年生は、国語「じどう車くらべ」のマイプラン学習に挑戦しました。自分で学習計画を立て調整したり、自分で粘り強く学習を進めたりしました。発展学習では、プリント、図鑑、絵、歌、クイズ、工作からコースを選択し、学習のまとめで発表しました。友達の作品を見たり、自分の発表を聞いてもらったりすることにも慣れてきました。「次は、もっと頑張りたい。」と意欲溢れる姿が見られました。

## 三鷹中央学園の窓

### 「三鷹中央学園」通信

### 三鷹中央学園研究発表会が開かれました。

11月29日に令和5・6年度三鷹市教育委員会研究協力校の研究発表会を行いました。研究主題である「児童生徒の自立した学びを目指して」を体現すべく、2年間、各校で取組を続けてきました。三小では、子どもたちの学びを広げ、深める学習環境整備に取り組みました。七小では、国語の「読むこと」に焦点を当てて、児童自身がもった問いを解決するために文学的文章を読むことに取り組みました。四中では、ICTを活用して、学びのPDCAサイクルを児童自ら回し、学びを深化させていくことに取り組みました。今後は、研究で得た成果や課題を各校の研究に生かしていきたいと思えます。

毎号、三鷹中央学園各校の様子が分かるHPのQRコードを掲載します。ぜひ、各校の取組をご覧ください。

#### 学園各校の様子「四中」



#### 学園各校の様子「七小」



#### 学園各校の様子「三小」

